

峽南歴史・文化ツーリズム構想

平成29年3月

目次

1 . 構想策定の背景・意義 P1	1 0 . 構想実現の方策・体制 P25
2 . 観光を取り巻く状況の変化 P2	1 1 . 構想推進の柱 P26
3 . 本県の観光の現状 P3	1 2 . 具体的な推進方策 P27
4 . 峡南地域の観光の現状 P6	“歩 く”
5 . 峡南地域の観光の課題 P14	“学 ぶ”
6 . 峡南地域が目指すもの P15	“食べる”
7 . 本構想の基本方針 P16	“感じる”
8 . 峡南地域各町の「稼ぐ力」 P17	“見 る”
市川三郷町	1 3 . 「稼ぐ場」づくり P33
早川町	1 4 . 情報発信の強化及び受入環境の整備 . P38
身延町	1 5 . 数値目標 P40
南部町	
富士川町	
9 . 峡南地域共通の「稼ぐ力」 P22	

1 . 構想策定の背景・意義

平成25年6月の富士山の世界文化遺産登録以降、本県を訪れる観光客は国内外ともに増加しており、中でも富士山周辺を訪れる観光客は本県全体の約半数を占めています。

一方で、富士北麓地域への観光客の集中という課題も生まれており、これらの観光客を県内周遊につなげ、本県観光の活性化を図っていく必要があります。

観光の大きな流れとしては、これまでの団体旅行から、個人のニーズに応じてより深く地域を知り、体験する旅行の形態が増加しており、国内のみならずインバウンドにおいても特に欧米系外国人を中心に地域固有の歴史・文化などを体験する旅行が大きな人気となっています。

このような中で、本県においては、太平洋と日本海をつなぐ中部横断自動車道の開通が予定されており、人や車の流れが大きく変わろうとしています。

特に、中部横断自動車道の利用が見込まれる中京圏からの観光客にとっては、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町の5町からなる峡南地域が本県への玄関口となります。

峡南地域は、今なお多くの歴史ファンを惹きつける戦国武将、武田信玄公のルーツである甲斐源氏発祥の地とも言われており、また日蓮宗総本山である身延山久遠寺を有する県内屈指の歴史ある地域です。

また、和紙、花火、硯、印章、歌舞伎や火祭りといった、本県を代表する多くの伝統文化を継承する地域でもあります。

本構想は、峡南地域の共通した観光資源である歴史・文化を核として、見る楽しさ、体験する楽しさなど地域全体の魅力と稼ぐ力を高め、効果的・積極的なPRなどを通じて誘客に繋げていくための指針となるものです。

なお、構想の期間は平成29年度から平成31年度までの3年間とします。

2 . 観光を取り巻く状況の変化

人々の価値観やライフスタイルの変化等により、旅行形態は団体旅行から個人・小グループ旅行にシフトしてきています。

また、インターネットやスマートフォンなどICT技術の進展によって観光情報の入手が容易になり、個人の好みや興味・関心に合わせた行動が可能になったことから、観光地は個人のニーズに合致した個性的な取り組みが求められるようになっていきます。

このような中で、地域そのものが観光資源であるという視点のもと、伝統文化、歴史的街並み、自然景観、伝統工芸など、地域独自の資源を観光資源と捉える考え方が浸透しつつあり、国内はもとより、欧米系外国人を中心にインバウンドにおいても、農山漁村での地元の方々との交流や農業体験、文化体験など、非日常を味わう体験型メニューへの関心が高まっています。

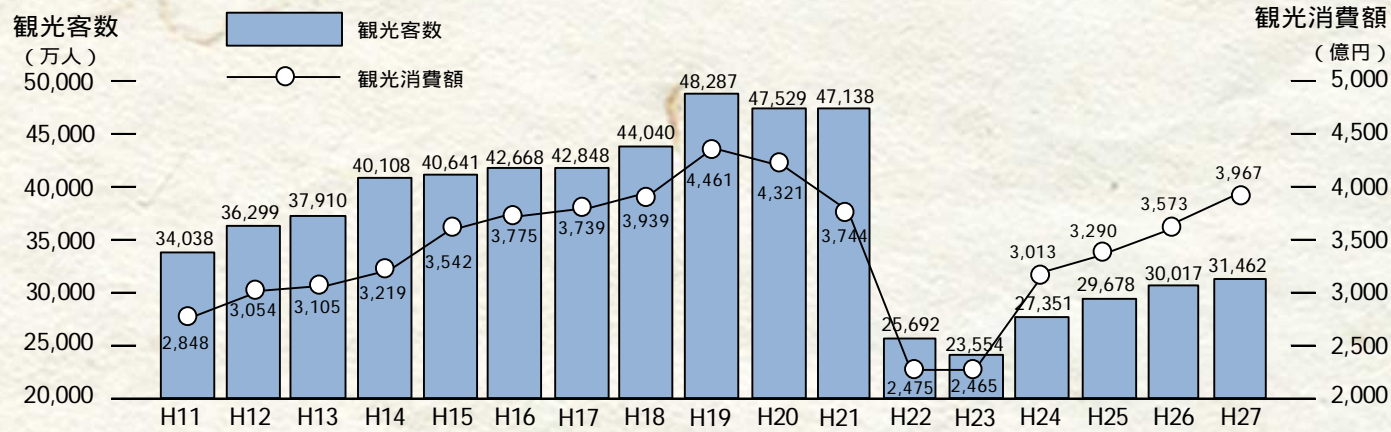
本県の峡南地域は、日本3大急流の一つである富士川が中央を流れ、静岡県、長野県との県境に山々が連なる自然豊かな地域であり、古くは富士川舟運による物流拠点や甲駿街道の宿場町として栄え、さらに平家物語に登場する源平の合戦である富士川の戦いで一躍名を馳せた甲斐源氏発祥の地とも、戦国時代有数の武将である武田信玄公のルーツとも言われています。

また、全国に348万人（H27宗教年鑑）の信徒を有する日蓮宗の総本山である身延山久遠寺を有しています。

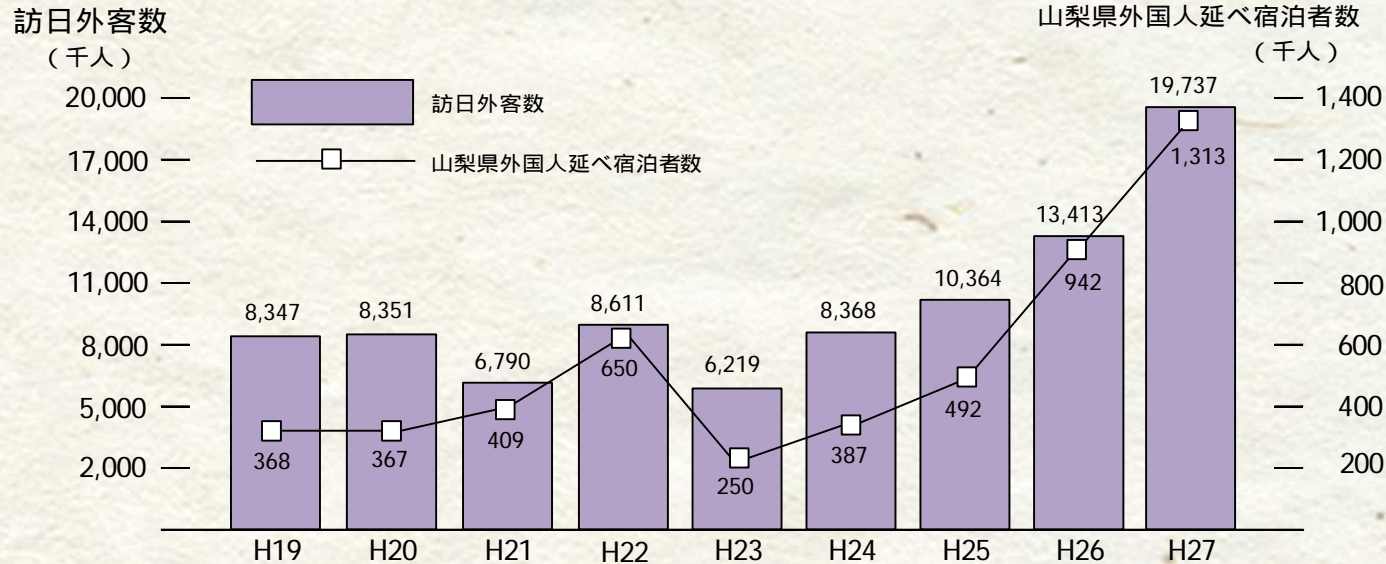
このように峡南地域は歴史に育まれた地であるとともに、本県の主要な伝統産業である和紙、印章、硯などの生産地でもあり、また、県内有数の温泉地も有しています。

現在の観光需要を踏まえ、峡南地域に潜在する歴史・文化の魅力を整理し、方向付けを行うことにより、今後の観光産業の活性化につながる大きなポテンシャルを持った地域であると言えます。

3. 本県の観光の現状



本県を訪れる観光客の数は、国の統計手法の見直しがあった平成22年以降で上昇傾向が続いており、平成26年には初めて3千万人を超えました。



訪日外国人観光客数も上昇が続いており、それに伴う延べ宿泊者数も増加しています。

3 . 本県の観光の現状

1. 調査の概要

県内を訪れた観光客に対して、平成 27 年の冬・春・夏・秋のシーズンごとに県内各地の観光地点において、対面聞き取り式によるアンケート調査を実施した。

本報告は、その調査結果を集計するとともに、性別・年代別等の分析をすることにより、旅行の目的や訪問先、消費額等の動態や旅行での満足度を明らかにする。

(1) 調査日

観光地点を、

- ① 歴史・文化
- ② 都市型観光
- ③ 温泉・健康
- ④ スポーツ・レクリエーション
- ⑤ 自然
- ⑥ その他

に分類し、季節ごとに峡中、峡東、峡南、峡北、富士・東部地域それぞれ 2 カ所ずつ調査地点を定め、県下 10 カ所で調査を実施した。

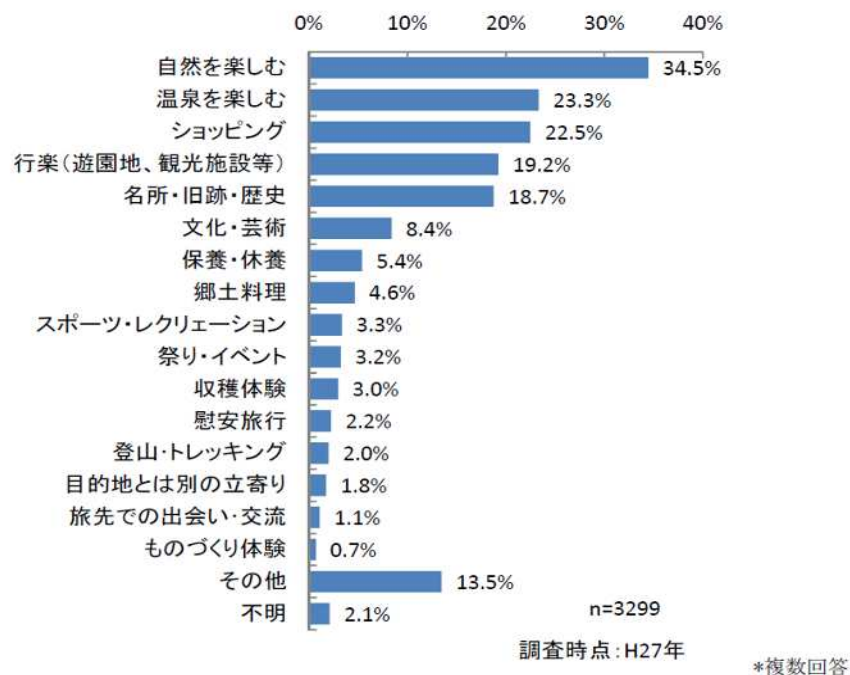
- 冬 : 平成 27 年 2 月 7 日 (土)
- 春 : 平成 27 年 5 月 16 日 (土)
- 夏 : 平成 27 年 8 月 1 日 (土)
- 秋 : 平成 27 年 11 月 7 日 (土)

(2) 調査地点、サンプル数

分類	観光地点名称	圏域	冬	春	夏	秋	計
歴史・文化	武田神社	峡中	76	72	77	77	302
歴史・文化	山梨県立美術館	峡中	76	76	76	75	303
歴史・文化	勝沼ぶどうの丘	峡東	77	76	78	79	310
都市型観光	モンデ酒造	峡東	75	76	76	76	303
歴史・文化	身延山久遠寺	峡南	102	76	76	76	330
温泉・健康	みはらしの丘みたまの湯	峡南	75	69	72	75	291
都市型観光	ハケ岳アウトレット	峡北	102	102	102	102	408
その他・道の駅	道の駅こぶちざわ	峡北	75	75	77	75	302
スポーツ・レクリエーション	富士急ハイランド	富士・東部	115	122	99	115	451
自然	カチカチ山ロープウェイ	富士・東部	76	69	79	75	299
合計			849	813	812	825	3,299

観光旅行の目的を見ると、「自然を楽しむ」が 34.5%と最も高く、次いで「温泉を楽しむ」(23.3%)、「ショッピング」(22.5%)となっている。

前年調査と比較すると、「ショッピング」の割合が「行楽(遊園地、観光施設等)」を上回り、3番目に高い割合となっている。また、「自然を楽しむ」が 4.1ポイント増加し、「行楽(遊園地、観光施設等)」が 2.0ポイント減少している。



アンケート調査結果によると、本県の豊かな自然を目的に訪れる観光客が非常に多く、また本県の歴史や文化を求めて来訪する観光客が多いことが分かります。

3 . 本県の観光の現状

県内の全ての圏域で前年度を上回る観光客の入込が見られますが、圏域別の観光入込客数では、依然として峡南地域は県内5圏域の中で最も入込客数が少ないという結果になっています。

また、峡南圏域の中では早川周辺への入込が低い結果となっています。

これは、魅力ある地域にも関わらずその発信力が弱いことや交通の便が悪いことなどが考えられます。

(単位:人、%)

圏域名	平成27年		平成26年		対前年比
	観光入込客数	構成比	観光入込客数	構成比	
峡 中	4,649,644	14.8%	4,391,174	14.6%	105.9%
峡 東	5,633,146	17.9%	5,619,031	18.7%	100.3%
峡 南	2,239,088	7.1%	2,089,857	7.0%	107.1%
峡 北	4,061,318	12.9%	4,046,891	13.5%	100.4%
富士・東部	14,878,779	47.3%	13,869,889	46.2%	107.3%
年計	31,461,975	100.0%	30,016,843	100.0%	104.8%

(単位:人、%)

小圏域名	平成27年	平成26年	対前年比
身延山・下部温泉周辺	1,085,511	1,125,929	96.4%
早川周辺	18,760	19,397	96.7%
峡南北部	864,393	671,196	128.8%
峡南南部	270,423	273,335	98.9%
小計	2,239,088	2,089,857	107.1%

4 . 峡南地域の観光の現状

峡南地域の観光の現状を把握するため、観光キャンペーン実施時に複数回のアンケート調査を実施しました。その結果、峡南地域の認知度や期待される観光資源などの現状が見えてきました。

特に、峡南地域に隣接する静岡県では峡南地域を訪れたことがある観光客は一定の数となるものの、愛知県をはじめとする他地域では訪れたことがある観光客の数が大幅に低下する傾向が見られました。

一方、アンケートでは温泉や歴史探訪、トレッキングやウォーキングといった峡南地域の観光資源に対する関心を持つ方が非常に多いことがわかりました。

平成28年7月22日(金)～23日(土)愛知県新東名岡崎SAアンケート結果【抜粋】(362サンプル)

居住地	人数	比率
岐阜県	35名	9.67%
愛知県	236名	65.19%
神奈川県	6名	1.66%
兵庫県	4名	1.10%
千葉県	4名	1.10%
東京都	6名	1.66%
静岡県	20名	5.52%
福岡県	1名	0.28%
奈良県	5名	1.38%
大阪府	6名	1.66%
京都府	3名	0.83%
福井県	2名	0.55%
埼玉県	2名	0.55%
滋賀県	3名	0.83%
三重県	9名	2.49%
鹿児島県	1名	0.28%
長野県	2名	0.55%
広島県	1名	0.28%
不明	16名	4.42%
計	362名	100.00%

山梨県訪問の有無	人数	比率
ある	301名	83.15%
ない	61名	16.85%
計	362名	100.00%

峡南地域訪問の有無	人数	比率
ある	115名	31.77%
ない	247名	68.23%
計	362名	100.00%

興味がある観光資源	人数	比率
温泉	179名	34.42%
歴史探訪	112名	21.54%
ウォーキング・トレッキング	67名	12.88%
文化体験	44名	8.46%
観光イベント	39名	7.50%
自然探訪	32名	6.15%
地場産品	25名	4.81%
レジャー・アクティビティ	14名	2.69%
農業・収穫体験	7名	1.35%
その他	1名	0.19%
計	520名	100.00%

複数回答

4 . 峡南地域の観光の現状

平成28年10月13日(木)～14日(金)愛知県JR名古屋駅及び静岡県浜松駅アンケート結果【抜粋】
愛知県JR名古屋駅アンケート結果(51サンプル)

居住地	人数	比率
愛知県	31名	60.78%
三重県	4名	7.84%
長崎県	2名	3.92%
静岡県	2名	3.92%
神奈川県	2名	3.92%
東京都	2名	3.92%
沖縄県	1名	1.96%
大阪府	1名	1.96%
岐阜県	1名	1.96%
不明	5名	9.80%
計	51名	100.00%

山梨県訪問の有無	人数	比率
ある	37名	72.55%
ない	14名	27.45%
計	51名	100.00%

峡南地域訪問の有無	人数	比率
ある	14名	27.45%
ない	37名	72.55%
計	51名	100.00%

興味がある観光資源	人数	比率
温泉	22名	25.00%
歴史探訪	16名	18.18%
観光イベント	13名	14.77%
地場産品	12名	13.64%
自然探訪	8名	9.09%
レジャー・アクティビティ	5名	5.68%
ウォーキング・トレッキング	5名	5.68%
農業・収穫体験	4名	4.55%
文化体験	3名	3.41%
その他	0名	0.00%
計	88名	100.00%

複数回答

静岡県JR浜松駅アンケート結果(323サンプル)

居住地	人数	比率
静岡県	272名	84.21%
愛知県	10名	3.10%
東京都	6名	1.86%
大阪府	5名	1.55%
神奈川県	4名	1.24%
千葉県	2名	0.62%
茨城県	2名	0.62%
宮城県	2名	0.62%
京都府	1名	0.31%
奈良県	1名	0.31%
沖縄県	1名	0.31%
福岡県	1名	0.31%
徳島県	1名	0.31%
広島県	1名	0.31%
埼玉県	1名	0.31%
山梨県	1名	0.31%
不明	12名	3.72%
計	323名	100.00%

山梨県訪問の有無	人数	比率
ある	263名	81.42%
ない	59名	18.27%
未記入	1名	0.31%
計	323名	100.00%

峡南地域訪問の有無	人数	比率
ある	172名	54.09%
ない	146名	45.91%
計	318名	100.00%

興味がある観光資源	人数	比率
温泉	171名	25.15%
歴史探訪	115名	16.91%
自然探訪	91名	13.38%
ウォーキング・トレッキング	78名	11.47%
地場産品	76名	11.18%
観光イベント	74名	10.88%
文化体験	37名	5.44%
レジャー・アクティビティ	17名	2.50%
農業・収穫体験	17名	2.50%
その他	4名	0.59%
計	680名	100.00%

複数回答

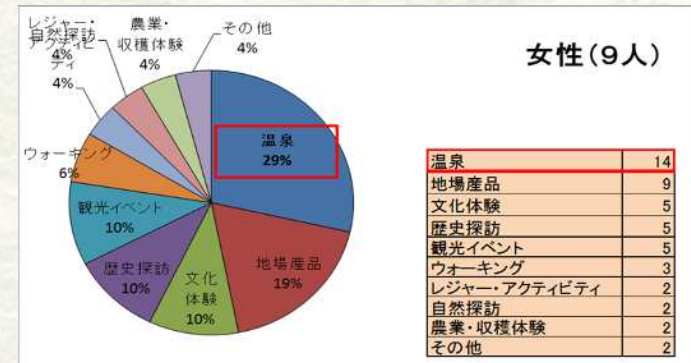
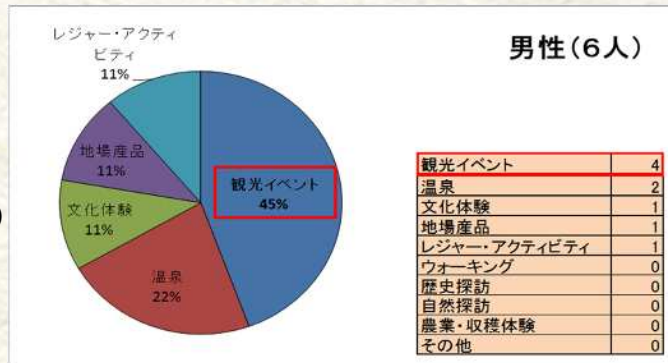
4 . 峡南地域の観光の現状

このアンケート調査のうち、サンプル数の多かった静岡県、愛知県にお住まいの方のアンケート結果を年代別、性別で整理して観光資源への関心度を分析すると、地域・年代別にアプローチすべき観光資源が見えてきました。

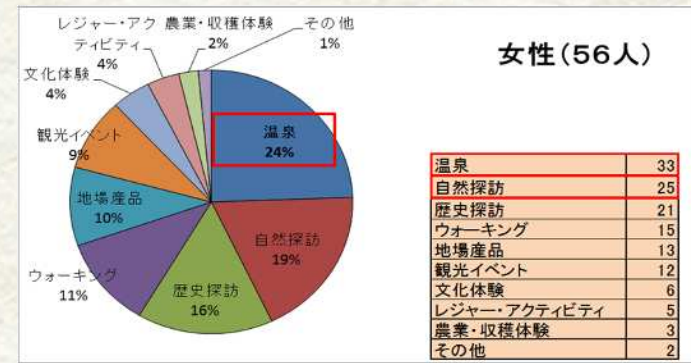
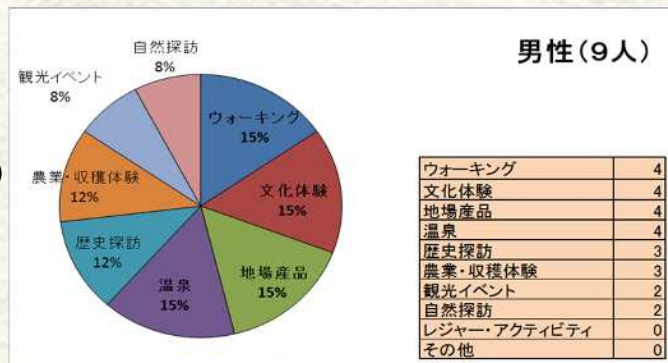
この結果を基に、今後PR媒体の選択や観光メニューの構築を進めていく必要があります。

《静岡県》

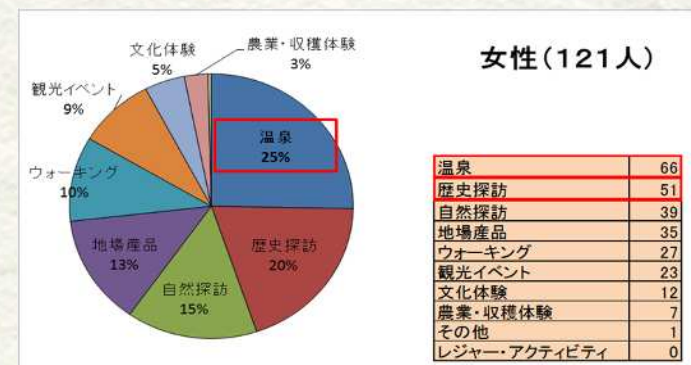
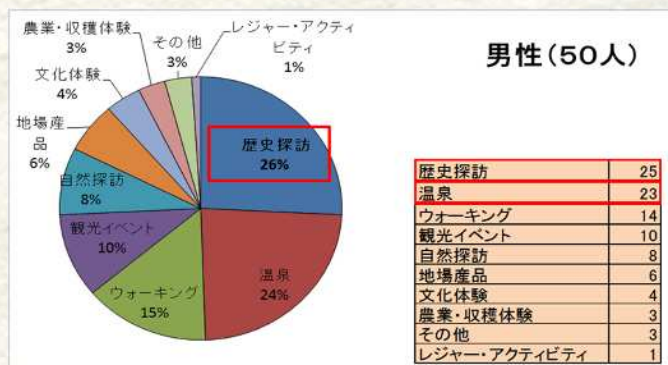
(20代~30代)



(40代~50代)



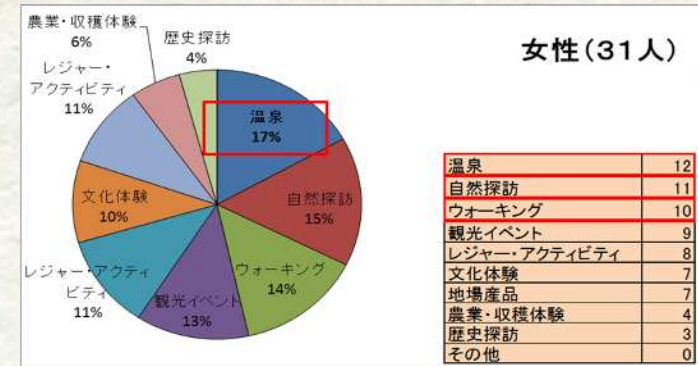
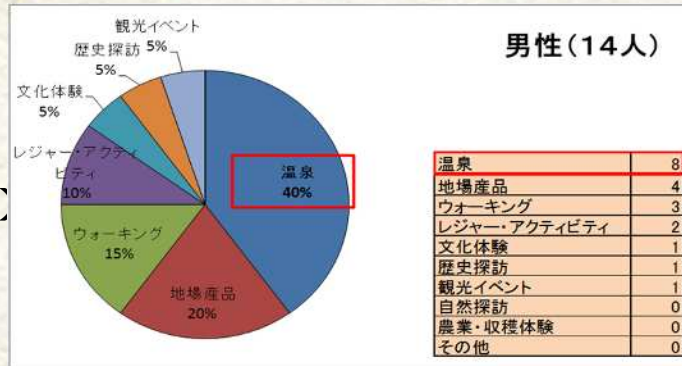
(60代以上)



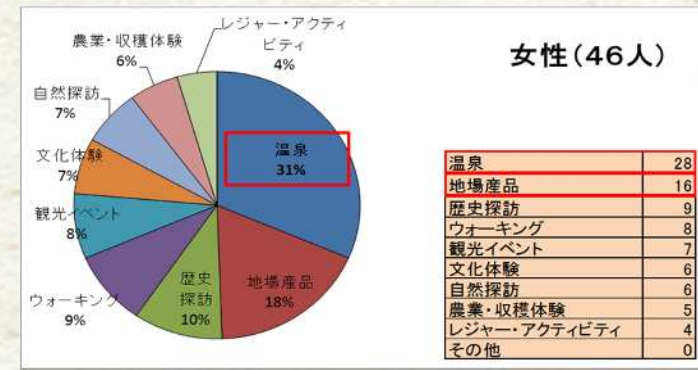
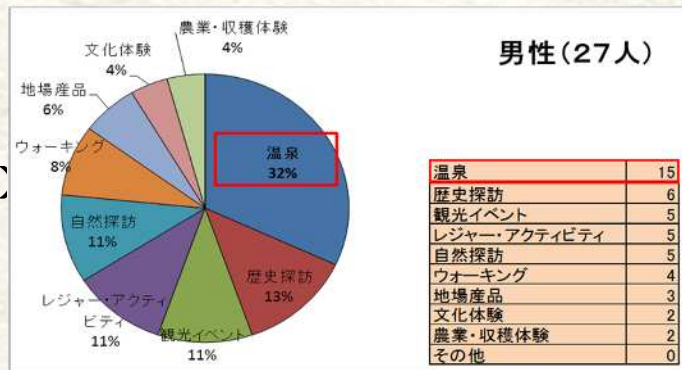
4. 峡南地域の観光の現状

《愛知県》

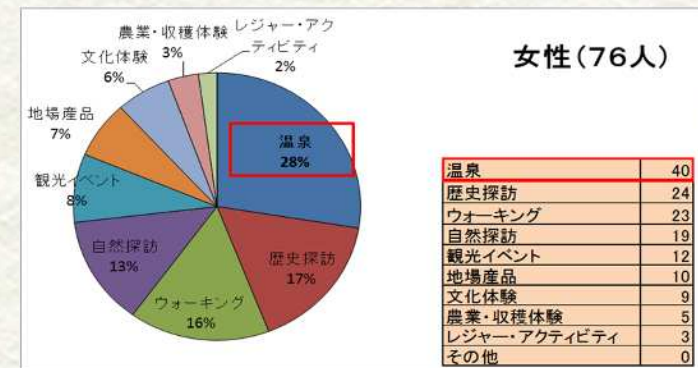
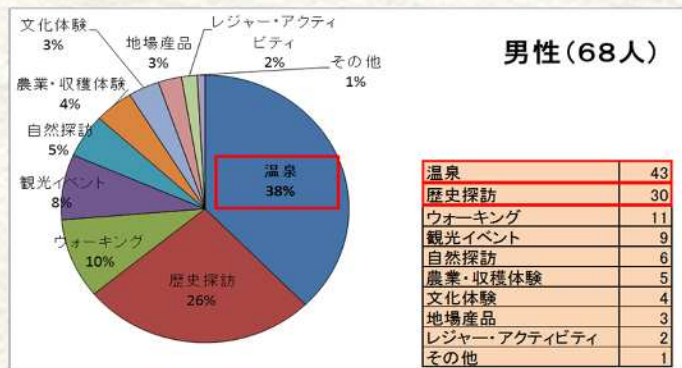
(20代~30代)



(40代~50代)



(60代以上)



4 . 峡南地域の観光の現状

アンケート調査の結果を地域別、年代別にアプローチすべき観光資源について関心度の高い順に整理すると次のようになります。

アンケート結果の分析により、それぞれの地域や年代に訴求できる媒体を活用したPRを行うことにより、効果的な誘客のための情報発信を行うことができます。

《静岡県》

20代～30代	40代～50代	60代以上
〈女性〉 温泉 地場産品 歴史探訪 観光イベント 文化体験	〈女性〉 温泉 自然探訪 歴史探訪 ウォーキング 地場産品	〈女性〉 温泉 歴史探訪 自然探訪 地場産品 ウォーキング
〈男性〉 観光イベント 温泉 地場産品 文化体験 レジャー・アクティビティ	〈男性〉 温泉 地場産品 ウォーキング 文化体験 歴史探訪	〈男性〉 歴史探訪 温泉 ウォーキング 観光イベント 自然探訪

《愛知県》

20代～30代	40代～50代	60代以上
〈女性〉 温泉 自然探訪 ウォーキング 観光イベント レジャー・アクティビティ	〈女性〉 温泉 地場産品 歴史探訪 ウォーキング 観光イベント	〈女性〉 温泉 歴史探訪 ウォーキング 観光イベント 地場産品
〈男性〉 温泉 地場産品 ウォーキング レジャー・アクティビティ 歴史探訪	〈男性〉 温泉 歴史探訪 観光イベント レジャー・アクティビティ 自然探訪	〈男性〉 温泉 歴史探訪 ウォーキング 観光イベント 自然探訪

4 . 峡南地域の観光の現状

【アンケート結果の分析】

《全体傾向》

地域・年代を問わず温泉での癒しを求める傾向が高くなっています。
年齢の上昇に応じて歴史文化への関心が高くなっています。

《静岡県（男性）》

- 20代～30代・・・観光イベントへの関心が高く、次いで温泉、文化体験等となっています。
- 40代～50代・・・温泉やウォーキング、地場産品への関心が高くなっています。
- 60代以上・・・歴史探訪への関心が高く、次いで温泉となっています。

《静岡県（女性）》

- 20代～30代・・・温泉への関心が高く、次いで地場産品、歴史探訪等となっています。
- 40代～50代・・・温泉への関心が高く、次いで自然探訪、歴史探訪となっています。
- 60代以上・・・温泉への関心が高く、次いで歴史探訪、自然探訪となっています。

《愛知県（男性）》

- 20代～30代・・・温泉への関心が高く、次いで地場産品、ウォーキングとなっています。
- 40代～50代・・・温泉への関心が高く、次いで歴史探訪、観光イベント等となっています。
- 60代以上・・・温泉への関心が高く、次いで歴史探訪、ウォーキングとなっています。

《愛知県（女性）》

- 20代～30代・・・温泉への関心が高く、次いで自然探訪、ウォーキングとなっています。
- 40代～50代・・・温泉への関心が高く、次いで地場産品、歴史探訪となっています。
- 60代以上・・・温泉への関心が高く、次いで歴史探訪、ウォーキングとなっています。



[年代や地域の特性に応じた具体的なPR方法の検討]

例) 静岡県の20代～30代：フリーペーパーなど若者読者層が多いツールへの温泉や地場産品、観光イベントの掲載

4 . 峡南地域の観光の現状

本構想の大きなターゲットである中京圏の旅行会社等4社を招聘し、平成28年12月7日(水)～8日(木)の2日間で峡南地域の歴史・文化を体験するツアーを催行し、アンケートを実施しました。

その結果、旅行の専門家の視点から、峡南地域の強みとして宿坊や赤沢宿に代表される「歴史体験」、和紙や印章などの「伝統文化体験」が多く挙げられました。また、今後に向けて情報発信の強化や教育旅行へのアプローチ、インバウンド対応などの必要性が指摘されました。前述のアンケート調査の結果と合わせ、峡南地域の観光の課題を整理していく必要があります。

峡南地域歴史・文化ツーリズム構想策定事業ファミツアー日程表

日程	月日	着時間	発時間	施設名	行程内容	
1	12/7(水)		8:00	J R名古屋駅		
			9:36	9:45	J R新富士駅	
			10:50	11:05	身延町:「みのぶゆばの里」 (休憩)	みのぶゆばの試食「ゆば作り体験」と「ゆば料理の昼食」ができる施設です。
			11:50	13:30	富士川町:十谷地区 「つくたべかん」	ふるさとの味、伝承料理を「つくって」「たべて」「かんじる」 つくたべかん 近くには「大柳川溪谷」があり、吊り橋や滝など四季折々の雄大な自然を満喫できます。ここでは、伝承料理の「みみ」作りを体験し、人気メニューの「みみ御膳」の昼食をお楽しみいただきます。
			14:10	15:10	市川三郷町 「歌舞伎文化公園」	歌舞伎の名門・市川團十郎発祥の地を記念して造られた公園。歌舞伎に関する資料や、歴代の團十郎などを紹介している文化資料館。特に團十郎の十八番「助六由縁江戸桜」を演ずる十一代目團十郎の舞台が再現されているところは特徴的です。
			16:00	17:15	身延町総合文化会館 (1Fメディアルーム)	峡南地域5町による「観光PRプレゼンテーション」 各町10分程度
2	12/8(木)		17:30	宿泊施設:身延山 「行学院 覚林坊」	無窓国師の手による日本庭園、本阿弥光悦筆の扁額を掲げる瑞門、徳川家寄進天井彫りを今に伝える日朝堂。そして、身延特産の湯葉を使った精進懐石。歴史と美味で皆様を迎える宿坊。	
			5:45	行学院 覚林坊	身延山久遠寺へ「朝のお勤め」	
			5:50	7:45	日蓮宗総本山:身延山 久遠寺	本堂で朝のお勤め(6時～)に体験ご参列いただけます。 その後、日蓮聖人御墓と御草庵跡(聖人9か年ご生活)など、祖廟域を案内と共に散策します。
			7:50	8:40	行学院 覚林坊	
			9:00	10:00	身延町 「甲斐黄金村・湯之奥金山博物館」	国指定史跡中山金山を紹介する施設で、映像シアターやジオラマ模型、資料展示室などがあり、中世戦国期金山の世界に浸れます。全国でも数少ない、砂金採り体験も可能な施設です。
			10:40	11:25	早川町:赤沢宿	赤沢宿は「身延山」と、修験霊山「七面山」を結ぶ身延往還の宿場町として栄えた山あいの静かな集落です。伝統的建造物群保存地区にも選定されており、江戸情緒漂う美しい街並みを残しています。
			12:00		身延町:富士川クラフトパーク内 「レストラン スヴニール」	パーク内のレストランで、山梨県産食材を中心に丁寧に調理・盛り付けられたカジュアルフレンチを提供。
			14:20		富士川クラフトパーク内 道の駅みのぶ富士川観光センター づくり館」	「もの」 日本一のはんこの里と言われる、市川三郷町(旧六郷町)の「篆刻(てんこ)体験」をこちらでお楽しみいただけます。 篆書(てんしよ)と呼ばれる趣のある独特の書体を彫る「ハンコ」作りの体験です。 ろう石を印材に、希望の文字を1文字～2文字、鉄筆と呼ばれる小刀で彫っていきます。 年賀状や絵手紙、名刺、書道の落款印としても使うことができます。
	15:00	15:50	南部町 南部町役場本庁舎	南部氏発祥の地として、歴史のある町です。また、南部茶とたけのこの産地としても有名です。 今回は、竹林整備事業と「たけのこ狩り体験プログラム」について、NPO法人なんぶ里山研究会からご案内します。		
	16:45	17:12	J R新富士駅			
	18:46		J R名古屋駅			

4. 峡南地域の観光の現状

[アンケート結果 (抜粋)]

1 印象的だった立ち寄り場所とその理由は何ですか。

歌舞伎文化公園は子供から大人まで楽しめる施設だと思う。説明があることであまり知らない歌舞伎の世界も楽しく知ることができた。覚林坊は、宿坊としての文化を残しながらも料理やお部屋の内容、ご対応が旅行として楽しんで頂けるような様々な工夫がされていると感じた。

歌舞伎文化公園は婦人会etc 趣味の会のグループには大変喜ばれると思う。

覚林坊は日本のおもてなし宿であり、精進料理が美味しかった。赤沢宿は日本らしい古い建物が多く残され、静かなところで、癒された。

2 その他興味を持った観光地、施設はありますか。

和紙の製造体験などは社員旅行で作った和紙が仕事でも利用でき、またお土産としてもかさばらず、場合によっては仕事で利用するというビジネス展開にもなると思う。またハンコ作りと合わせて美術専門学校向けにツアーを作ることもできると思う。

歴史を体感できる内容であり、特に朝のお勤めや赤沢宿は文化を感じることができたので、とても良かった。

神明の花火は日本を代表する夏祭りとしてぜひ体験していただきたい。

3 今回のツアーは今後の旅行商品造成の参考になりましたか。

町単位で見るとやはり観光素材として乏しい部分はありますが、峡南地域全体では1~2日のツアーを造成することは可能だと思う。

訪日観光客は富士山、河口湖を中心に回ります。今後滞在時間を伸ばし、もの作り体験を楽しめるコースに組みたい。

4 現在の旅行者の嗜好から、今後峡南地域で誘客を図るべき素材はありますか。

散策MAPの充実(ドラマのロケ地となった場所の紹介、写真撮影スポットの紹介)、大人数を収容できる宴会場は必要。

峡南地域は体験施設が多くあり、県外小・中学生に農業、もの作り体験をもっと教育旅行にPRすべき。

5 歴史・文化を核とした誘客を図る上でどのような仕掛け(仕組み)が必要ですか。

展示物の充実、写真撮影スポット、ガイド案内、スイーツの開発、特典(参加者限定商品のプレゼント)のほか、実際に来てみたいと見れない景色、触れないモノを展示・紹介すると良いと思う。(旅行の際SNSで載せるために写真を撮る人が多いため。)大塚にんじんはとても甘くておいしかったので、スティックに加工したものの販売など持ち帰りやすい商品があればいいと思う。

地域のもの作り体験と文化とのマッチングとして農業体験のツアーなどは有効と考える。

6 峡南地域と他地域をセットとする旅行商品について

ゴルフや合宿目的で山梨を希望されるお客様がいますので、その方々へは峡南エリアも含めた企画提案は可能だと思う。

峡南地域には温泉地が多くあり、売り込む要素として活かしたい。

7 「峡南エリア」を中京圏の方々に身近なものとして認知していただくため、今後必要と思われる点、改善すべき点は何ですか。

団体部門において予算上、JRを含めた案内は厳しい状況にあるため中京圏からバス移動となる。西方面では峡南エリアと同じ移動時間で兵庫まで行くことができる。滋賀(アクティビティ)、京都(神社伝統文化)、三重(伊勢神宮)、大阪(食とエンターテイメント)兵庫(宝塚・有馬温泉)と大まかではあるがイメージがありそれを基に旅行場所を選んでいる。峡南エリアでは、宿坊や砂金採りハンコ作りや和紙作りなど体験できるものが豊富だと感じた。峡南エリア(体験)とイメージを与えるようにアプローチをすることで上記ライバル県とは違った強みで差別化を図ることができるかもしれないと思った。

現地研修ではもっと多くのエージェント、雑誌関連等担当者を招聘し、名古屋地区でのキャラバンで各エージェントをセールスしてはどうか。

認知向上のため、テレビ、SNSを通じて、地域の魅力を紹介するとともに、例えば親子季節限定たけのこ収穫体験ツアーや県内と県外の小・中学生を対象とした学年農業体験を通じて交流を図るなど。

8 これから、山梨で『峡南地域の歴史・文化をめぐる周遊観光』を商品として売り込むにあたってのアドバイスをお願いします。

下記の内容・資料を作成して頂けると、営業としても企画提案がしやすくなりあらゆる手間が省けるので大変助かる。

・行程表(季節ごとの提案、日帰り宿泊での提案、家族向け・学習向け・男性向け・女性向けなどテーマごとの提案)移動時間、各施設滞在時間、行程内でかかる料金等も記載

・各地の散策MAP

教育旅行には、ある程度マッチしていると思うが東海3県の中学校の修学旅行は大体が東京方面2泊3日で1泊が東京、あと1泊が富士山周辺(伊豆)なので、まずはセールスが必要ではないかと思う。

インバウンドの受け入れに関してはパンフレットの多言語が必須となる。また団体向けスポットと個人旅行向けスポットを分けてモデルコースを作成してはどうか。
峡南地域の魅力をPRできるHPやSNSを充実・活用して、積極的に情報発信を行う必要がある。

5 . 峡南地域の観光の課題

「稼ぐ力」としての観光資源の磨き上げ、有効活用、情報発信の不足

歴史・文化に関連する観光資源や魅力ある温泉など、資源は多く存在しているものの、地域全体としての魅力発信が不足。

さらに、より魅力ある地域として訴求するための新たな歴史・文化資源の掘り起こしが不足。

これらを磨き上げ、峡南地域の稼ぐ力として確立していく必要があります。

地域の観光資源のブランド化、顕在化の不足

地域が持つ魅力ある歴史・文化・自然などを観光資源として地域全体で共有・活用できていない。また、それらを強力に訴求できる戦略がない キーワード《甲斐源氏、田舎暮らし など》

インバウンドへの対応の不足

歴史・文化への関心の高まりを受け、インバウンドに対応するための多言語パンフレットや案内板整備、Wi-Fiスポットの整備、地域を案内できる人材が不足。

【核となる観光資源】

- 1 **歴史・文化** (甲斐源氏、身延山、富士川、花火、祭り、温泉など)
- 2 **自然景観** (ダイヤモンド富士、桜、街並み、富士川など)
- 3 **食・豊かな地場産品** (ゆず、ゆば、南部茶、和紙、印章、硯など)
- 4 **スポーツ・アクティビティ** (ラフティング、ウォーキング、サイクリング など)



6 . 峡南地域が目指すもの

これまで峡南地域では、各町ごとに特徴を活かしたイベントなどを通じた誘客を実施するとともに、身延線沿線観光振興協議会による広域の取り組みも進められてきました。加えて、中部横断自動車道開通を見据えた取り組みも始められてきましたが、今後、地域に人を呼び込み、地域経済に直接的なメリットを生むためには、地域の強みとなる資源を連携させ、有効に活用する広域の魅力づくりを行う中で、地域全体の「稼ぐ力」を高めていく必要があります。

特に、中部横断自動車道開通の際には、峡南地域への人・車の流れはできるものの、東名高速道路と中央自動車道を移動するための通過点になってしまうことも考えられます。

そこで、峡南地域の強みである歴史・文化資源を磨き上げ、また経済効果を生む資源として活用し、広域で連携したサービス等の提供により、地域への誘客と周遊・滞在の促進を目指していきます。

歴史・文化や関連資源の
連携による魅力ある
新たな観光地づくり
「稼ぐ力」の結集



地域が一体となって
進むための指針となる
歴史・文化ツーリズム構
想の策定

7 . 本構想の基本方針

“地域の歴史・文化を核とした観光地づくりによる 観光産業の活性化と地域経済の発展を目指す”

峡南地域における「稼ぐ力」は、県内でも他に類を見ない歴史・文化資源である身延山や宿坊、情緒ある景観を残す赤沢宿、長い歴史を持つ地域の伝統工芸である和紙、印章、また、曙大豆や大塚にんじん、たけのこ、南部茶といった地域を代表する食、さらに武田信玄公の隠し湯と言われる下部温泉郷や西山温泉とバラエティに富んでいます。

加えて、本県の林業のメッカである峡南地域は森林景観にも優れ、ダイヤモンド富士に代表される秀逸な眺望や山間の棚田といった日本の原風景も有しています。

これらの地域が持つ魅力を連携させる仕組みづくりとともに、これまで埋もれていた観光資源をしっかりと掘り起こし、地域全体の宝としての意識を共有し、活用・発信していく必要があります。

また、欧米を中心とした歴史・文化に関心が高いインバウンドへの受入体制整備も必要となります。

これらにより、峡南地域を訪れた人々が、地域の歴史や文化、食、温泉、景観に五感で触れ、地域のファンとなって再び訪れていただくことにより、地域経済の発展につながっていくと考えます。

8 . 峡南地域各町の「稼ぐ力」

市川三郷町

市川三郷町の歴史を遡ると起源は古く、葛籠沢の石仏遺跡や大木の宮の前遺跡、大塚の北原一帯からは、縄文・弥生時代の貴重な文化遺産が多数出土しています。また、曾根丘陵付近には大塚古墳やエモン塚古墳、鳥居原狐塚古墳、伊勢塚古墳などの前方後円墳や円墳が集中しています。

平安時代に置かれた荘園である市河荘は、甲斐の国の文献にみられる最初の荘名となっています。

また、平安時代中期には、甲斐の国から朝廷に紙や紙の原料となる麻を貢進したと文献に記されており、すでに当地を中心に和紙の生産が行われていたことがうかがえます。

12世紀初め、甲斐源氏の祖とされる新羅三郎義光の子、源義清が荘官として市河荘に下向したといわれていることから、甲斐源氏発祥の地と言えられています。武田信玄公の時代には、現在の歌舞伎文化公園の一帯に、信玄公の弟にあたる一条信龍の館があったとされており、当所は別名上野城と呼ばれ、往時、武田家の能係りを努めていたのが、初代団十郎の曾祖父であり、信龍の家臣として、この地に居を構えていたことから、市川団十郎発祥の地として全国に発信しています。

また、信玄公時代の烽火が当地の花火産業の始まりになったとされており、現在では神明の花火に毎年多くの観光客が訪れます。

江戸時代に入ると、徳川家康の命を受けた角倉了以により富士川舟路が開削され、高瀬舟が運行されます。黒沢には鰻沢、青柳とともに河岸が置かれ、当地は甲州一円から松本諏訪藩に至る物流の要衝として活況をみせました。

武田信玄公の時代に庇護されていた市川和紙は、江戸時代にも幕府の御用紙となり、世襲の肌吉衆によって引き継がれ、諸役御免で名字帯刀を許されるなどの特権を認められていたといわれています。

明治初期の甲府の水晶加工技術業の発展に伴い、水晶印の行商から始まった印章彫刻技術は、町の基幹産業に発展しました。また、この時代、一瀬益吉氏によって桑の最良品種である一瀬桑が発見され、以降、奨励品種として全国の養蚕業発展に貢献しました。

【稼ぐ素材】

歴史：甲斐源氏旧跡、古墳、表門神社、薬王寺、七福神（巡り）

文化：神明の花火、山田の神楽獅子、浅間神社太々神楽、一之酉の舞、歌舞伎

農業：甘々娘、大塚にんじん、桑

産業：手漉き和紙、花火、印章、みたまの湯

自然：四尾連湖、桜、蛾ヶ岳



8 . 峡南地域各町の「稼ぐ力」

早川町

早川町は、山梨県の南西部に位置し、南アルプスの山々に囲まれた自然豊かな町です。町名の由来となっている町の中央を流れる早川を中心に、大小の滝や渓谷が、美しい渓谷美を作り出しています。町土の96%を森林が占め、新緑や紅葉の時期は特に美しく、周囲を囲む山々の四季折々の変化は鮮やかで、見るものの目を楽しませてくれます。

町の地形を形成した、大断層、糸魚川 静岡構造線が町を南北にはしり、その断層露頭部が国の天然記念物に指定されるなど、地質的にも貴重な場所となっています。

春には『南アルプス早川山菜まつり』秋には『南アルプス紅葉とそばまつり』が行われ、多くの観光客が訪れています。

温泉資源も豊富で、開湯1300年の歴史を有する「西山温泉」を始め、町内各地に温泉が点在し、温泉ファンを魅了しています。

早川流域に集落ができはじめたのは平安時代末頃からと言われており、鎌倉時代には、日蓮聖人の身延山開山をきっかけに、法華経の信仰と関わりを持つようになります。戦国時代から江戸時代にかけては、武田家の軍資金として象徴される、保金山や黒桂金山などが開発されました。

江戸時代には、身延山と信仰の山、七面山を結ぶ信仰の道に参詣客が多く訪れ、赤沢集落が講中宿として隆盛を極め、そのたたずまいは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

また第46代孝謙天皇が奈良田集落に8年間滞在したという伝説にも彩られています。

現在は、風光明媚な土地に惹かれた多くの芸術家が移住しており、アートの町としての一面も持っています。

【稼ぐ素材】

歴史：赤沢宿、奈良田、七面山

文化：アート（芸術）

農業：ジビエ、島根芋、えごま、茂倉うり

産業：蜂蜜、白鳳味噌、こんにゃく、西山温泉

自然：南アルプスユネスコエコパーク、羽衣白糸の滝、早川渓谷



8 . 峡南地域各町の「稼ぐ力」

身延町

身延町は、森林が約8割を占め、町の中央を北から南に日本三大急流の一つである富士川が流れ、その支流である早川、常葉川など多くの中小河川が流れ込んでいます。

富士川を挟んで東西に急峻な山地が連なり、平坦地は、富士川沿いとその支流の中・下流域に広がり、比較的まとまった集落や農地を形成しています。山間部の中小河川沿いには、中小集落が散在し、周辺に農地が拓かれています。

また、多様な地形・地質、さらに多様な動植物相を有しており、さらに本栖湖をはじめとする富士山の眺望地、山々と渓谷が織りなす四季の美しい景観を誇っています。

観光では、北には西嶋和紙をテーマとしたなかとみ和紙の里のある「中富エリア」、東には千円札のデザインである本栖湖、1200年の歴史を誇る下部温泉郷や湯之奥金山博物館のある「下部エリア」が、また、南には日蓮宗総本山身延山久遠寺がある「身延エリア」など、三つのエリアに区分できます。

観光客の動向は、身延山久遠寺への参拝・観光客は年間約120万人、下部温泉の入湯者数は年間約10万人と推定されていますが、近年の観光スタイルの変化とともに減少を続けています。

観光資源としては、身延山と下部温泉のほか、湯之奥金山博物館、富士川クラフトパーク、なかとみ青少年自然の里、なかとみ和紙の里、ヤマメの里、さらに本栖湖、富士川、富士山の眺望を誇る山岳トレッキングコース、町内JR身延線駅周辺散策コース、道の駅しもべ・下部農村文化公園、みのぶゆばの里とよおか、一色のホタルの里など多くの資源があり、それぞれに誘客イベントも実施されています。特に、近年の体験志向の高まりを背景に、湯之奥金山博物館の砂金採り体験、なかとみ和紙の里の紙漉き体験をはじめ、道の駅富士川ふるさと工芸館やなかとみ青少年自然の里などでは各種体験メニューを提供しています。また、特産あけぼの大豆の枝豆オーナー制度と収穫体験、ゆばづくり、味噌づくり体験を実施するとともに、さらに都市住民との交流を通じて、農地や農業体験の場の提供など、農工商連携事業を強化しています。

【稼ぐ素材】

歴史：身延山久遠寺、宿坊、富士川、氷室神社

文化：湯之奥金山、木喰上人

農業：ゆば、あけぼの大豆

産業：西嶋和紙、竹炭、下部温泉

自然：桜、本栖湖、



8 . 峡南地域各町の「稼ぐ力」

南部町

南部町は、森林が町土面積の約9割を占める緑豊かで自然に恵まれた地域であり、気温が年平均15℃と比較的温暖で、降雨量は年間2,500mmと、県内で最も高温多雨の地域となっています。

太平洋沿岸気候に属しているため、四季を通じて過ごしやすい地域となっており、こうした気候条件はスギ・ヒノキの生育に適し、高い人工林率を持っています。また、茶の栽培にも適しており、香りと味が良いヤブキタ種は「甲斐の緑南部茶」として広く親しまれています。

町内には、国の重要文化財である最恩寺仏殿をはじめ、由緒ある神社仏閣や天神堂遺跡、南部氏館跡などといった遺跡旧跡が今に残っています。

さらに徳間相撲甚句や内船歌舞伎などの民俗芸能、南部の火祭りなど数多くの文化財や伝統文化が大切に受け継がれています。

また特用林産物として出荷される「たけのこ」は南部町の特産品となっており、生産者の高齢化や後継者不足により一時は放置竹林が増えていましたが、民間団体の手によって再整備が進められていることから、今後の観光活用が期待されています。

観光では、中部横断自動車道の全面開通を見据え、新設される南部IC近くに、観光情報を提供するコーナーや歴史資料の展示スペースを設けた交流施設（道の駅）の整備を進めています。

【稼ぐ素材】

歴史：最恩寺、南部氏館跡、天神堂遺跡

文化：南部火祭り、内船歌舞伎、徳間相撲甚句

農業：たけのこ、南部茶

産業：木材、

自然：福士川溪谷、天子湖、東海自然歩道、竹林



8 . 峡南地域各町の「稼ぐ力」

富士川町

富士川町は、森林の割合が約81%と高く、農用地が約4%、宅地が3%などとなっており、東は富士川、西は櫛形山や源氏山と、豊かな自然資源に囲まれた環境にあります。

かつては富士川舟運を中心とした物資の往来や身延山参詣など、人の行き来の拠点として栄え、物資の輸送や人々の足が鉄道や自動車に代わった現代でも、静岡と甲府、あるいは長野方面を結ぶ交通の要衝にあります。

信州往還と駿州往還の交わる地点に位置していた富士川町鰍沢は、富士川舟運の要衝地であり、鰍沢河岸は流通の拠点として大きく発展していきました。この富士川舟運により様々な文化がもたらされ、特有の文化として発展しました。鰍沢に残る山車は、京都の「祇園ばやし」と江戸の「おはやし」の特徴が混ざり、山車の上半分が浅草風で、下半分が京都の御所車風といった、鰍沢ならではの造りになっています。

また、歴史・文化を今に伝える資源として、武田家や徳川家康ゆかりの神社である氷室神社や、幼児の癩の虫を切るという「虫切り加持」を行い全国から人が訪れる昌福寺、あじさい寺として県内外に知られる妙法寺など、本県でも有数の神社仏閣を有しています。さらに、落語「鰍沢」の舞台となった町でもあります。

産業では、県内最大のゆずの産地であり、また雨畑硯や臼、太鼓といった伝統工芸が根付く地域でもあります。

さらに、富士川町は自然景観にも優れ、高下地区からのダイヤモンド富士は県内外でも非常に人気が高く、プロ・アマ問わず多くの写真家が訪れます。

また、春には大法師公園に2000本の桜が咲き乱れ、県外から多くの観光客で賑わうとともに、平林地区の棚田は日本の原風景として人気のスポットとなっています。

【稼ぐ素材】

歴史：氷室神社、昌福寺、妙法寺

文化：山車、落語「鰍沢」

農業：ゆず、

産業：雨畑硯、臼、太鼓

自然：大法師公園、ダイヤモンド富士、棚田



9 . 峡南地域共通の「稼ぐ力」

峡南地域の各町は、歴史探訪、観光イベント、地場産品、温泉（宿泊）、健康・趣味（文化）体験それぞれに魅力ある観光資源を有しており、また、それぞれの地域に強みがあります。

観光資源を広域で活用し、互いに弱い部分を補い合うことによって、峡南地域全体の観光地としてのポテンシャルが上がり、誘客の強化や周遊観光の促進につながり、交流人口の増加や地域経済の活性化が図られていきます。

“歴史探訪”

峡南地域には、甲斐源氏発祥とされる地や、日蓮宗総本山である身延山久遠寺をはじめとして、各町に史跡や文化財、地域の中で埋もれた神社仏閣を有しており、他の地域を凌ぐ強みを持った歴史が息づいています。

これらを個々に紹介するだけでなく、ストーリーや体系を見出すとともに、ウォーキングなどのアクティビティと連携させるなど、峡南地域全体の歴史の魅力として強力に発信することが可能となります。

地域の歴史を探求・体験する旅への関心が高まりを見せる中で、歴史探訪は地域の大きな「稼ぐ力」となります。

9 . 峡南地域共通の「稼ぐ力」

“観光イベント”

峡南地域には、神明の花火や南部の火祭り、鯉沢の落語や市川三郷町の歌舞伎、富士川舟運といった、そのものが大きな集客力や特色を持った祭りや伝統文化が今に伝えられています。

また、市川三郷町や身延町に伝わり、江戸幕府に献上されていた良質の和紙、日本一のはんこの産地としてギネスブックに登録されている印章、良質な石が産出されることから全国的にも有名な雨畑硯などは見るだけでなく体験することもできます。

集客力のある祭りの魅力をいかに発信していくか、また峡南地域の伝統文化の魅力をいかに伝えていくか、「楽しさ」や「伝統」をいかに観光客に対してアピールしていくかが「稼ぐ力」を高めることとなります。

“地場産品”

峡南地域では、各町で特色ある農産物が生産されています。特に、市川三郷町の大塚にんじん、身延町のキノコ、曙大豆やゆば、早川町のはちみつ、南部町のたけのこやお茶、富士川町のトマトやゆずなどは本県を代表する農産物と言えます。これらの農産物はそれぞれ魅力に溢れた資源ですが、より競争力を高め、また観光客に訴求する地域資源としていくためには、各資源をつないで新たな地場産品を生み出したり、ホテル・旅館や宿坊、地域の飲食店などで提供する料理に積極的に活用するなど、これまで以上の工夫と活用が求められます。これによって、農産物が地域の「稼ぐ力」となります。

9 . 峡南地域共通の「稼ぐ力」

“温泉・宿泊”

峡南地域には、身延山久遠寺周辺に宿泊施設を備えたお寺である「宿坊」があり、久遠寺での朝のお勤めなどそれぞれに体験や食を提供しています。そのほか、県内有数の温泉地である下部温泉や、日本最古の温泉と言われる西山温泉など、旅の癒しを提供する環境も整っています。

また、今後の可能性として各町における農家民泊の推進など、新たな宿泊形態への対応も大きな武器となります。温泉や宿泊施設が様々な観光客のニーズに合わせた滞在メニューを提供することにより、地域での体験と併せ、峡南地域の大きな「稼ぐ力」となります。

“健康（ウォーキング）・趣味（文化）”

峡南地域は、本県有数の自然景観を誇る緑豊かな地域でもあります。

春は桜の名所である身延山久遠寺や大法師公園をはじめ、夏から秋にかけては大柳川渓谷や福士川渓谷などの渓谷美、またエコパークに登録された南アルプスの雄大な自然や季節によって各町から望むことができるダイヤモンド富士の神秘的な景観など、様々な表情を見せる峡南地域は、プロ・アマ問わず写真家や画家から非常に人気があると同時に、ウォーキングやトレッキングなど自然とともに楽しむスポーツに適した地域でもあります。単に自然を眺めるだけでなく、そこに健康づくりや文化体験が加わることによってより深い地域との繋がりが生まれ、地域の「稼ぐ力」となります。

10 . 構想実現の方策・体制

地域の関係者で構成する峡南地域歴史・文化ツーリズム振興会議を中心として、地域の神社仏閣や観光協会等の関係団体と連携し、歴史・文化を体験できる観光地づくりに向けた体制を構築していきます。

また、中部横断道活性化ビジョンにおける取り組みとも連携しながら峡南地域の観光振興を図ることとします。

今後、各分野の関係者による組織づくりを進め、具体的な実行計画を定める中で、以下のような具体的な取り組みを行い、地域全体の魅力づくりに繋げていきます。

行政：広域周遊の仕組みづくり、地域全体の案内体制づくり、関係者間の連絡調整

観光事業者：地域の特産品の積極的な販売、飲食店での地元食材の活用・メニュー開発、インバウンド対応の強化

宿泊事業者：地域の食材を活用したおもてなし、地域情報の発信、インバウンド対応の強化

身延山等：体験メニュー、文化メニューの構築、地域の歴史発信、インバウンド対応の強化

観光協会等：地域の歴史・文化体験イベント実施、飲食店等におけるおもてなし（田舎料理やサービス）推進

旅行者：歴史文化を体験できる着地型旅行商品や教育旅行の造成

大学生等：若者による地域の魅力再発見、情報発信

道の駅等：広域の情報発信、地域体験イベントの実施



連携

中部横断道活性化ビジョンにおける広域の取り組み

1 1 . 構想推進の柱

本構想では、地域の関係者が連携し、歴史・文化を中心とした地域の受入体制整備を図るとともに、峡南地域の大きな節目となる中部横断自動車道の全線開通を見据えながら、情報発信の強化に取り組んでいくこととします。なお、今後観光振興による峡南地域の発展を図る上では、日帰り旅行から宿泊を伴う旅行へとシフトしていくこと、小グループや教育旅行などを積極的に受け入れていくこと、観光振興の取り組みを峡南地域全体の経済の活性化へ繋げていくこと、を念頭に、取り組みの柱を次の5項目とし、それぞれの具体的な取り組みのイメージを共有しやすいように、具体的な取り組みを「学ぶ」、「歩く」、「食べる」、「感じる」、「見る」の5つの行動に整理します。

身延山を中心に峡南地域の歴史を核とした誘客の取り組み

- ・身延山でのコンサート、歴史探訪ツアー、朝のお勤め体験、宿坊や大学との連携強化など

歴史・文化・自然体験メニューの充実

- ・歴史文化を体験できるイベント・メニューの構築（歌舞伎文化会館での歌舞伎衣装体験など）
- ・伝統的な「ものづくり」文化が今なお残る地域であることをPRするイベントや、農業・森林体験と温泉など地域の魅力を体感できる仕組みの構築、ウォーキングやトレッキングなど自然を体感できるイベント構築、歴史・文化を案内できる地域ボランティアガイドの育成、温泉を活用した新たな癒しメニューの提供 など

中部横断自動車道開通を契機とした取り組み

- ・中部横断道開通は地域をPRするチャンスでもあるため、JRやNEXCO中日本、地域の官民が連携し、歴史・文化を中心とした共通の開通イベント、各町におけるイベントを実施
- ・地域資源の再構築

情報発信の充実・強化

- ・ホームページの充実・強化、SNSの活用
- ・ホテル、旅館、宿坊と連携した地域ならではの食の情報発信
- ・中京圏・関西圏へのキャンペーンの強化

インバウンドを含めたおもてなしの受入環境整備

- ・地域限定特例通訳案内士の活用
- ・多言語表記の案内（パンフレット等）の充実

1 2 . 具体的な推進方策

峡南地域は歴史・文化をはじめ、食や自然など多くの観光資源に恵まれています。

これらの観光資源を観光客の行動の観点からカテゴライズし、具体的な取り組みの方向性を明示することにより、行政、関係団体、民間企業など地域の関係者が同じ意識を持って「富士川ブランド（仮称）」を確立し、峡南地域の観光振興と経済の活性化を図っていきます。



“学ぶ”

“歩く”

“食べる”

“感じる”

“見る”

共通テーマ：“癒し”

12 - 1 【学ぶ】

地域の歴史や文化を学び、深く知ることによって、地域に対する愛着が増し、観光客は地域の応援団となり、そして地域住民は自らの故郷に誇りを持てるようになります。

そのためには、県内外の歴史・文化に興味を持つ方に対して学習意欲をかき立てる「地域を学べる場」を提供し、また、地域住民に対しては地域の歴史文化を幅広く学ぶ機会を創出するとともに、学べる場と人材を活用して教育旅行や歴史ファンのグループなどの誘致にも取り組むことで、峡南地域のファンを増やすこととし、【学ぶ場づくり】による「稼ぐ力」の底上げを図ります。

**源義清公館跡伝承地など甲斐源氏のルーツや関連する地域内の歴史スポットを巡るツアーの造成
歴史案内ボランティアの育成**

身延山大学などと連携し、地域のいわれや言い伝えなどを学ぶ歴史文化セミナーの開催、仏像修復の現場見学など、地域でしか学べない特別なイベントの実施など



12 - 2 【歩く】

健康志向の高まりに伴い、マラソンやトレッキング、ウォーキングや自転車を使ったアクティビティが幅広い年代に親しまれています。

歴史文化とともに自然景観にも恵まれている峡南地域は、これらの活動に適した地域であることから、これまでも各町においてイベントが行われてきました。

今後は、各町の取り組みを広域のイベントとして位置付け、実施時期の重複を避けるなど連続性を持たせることによって繰り返し地域を訪れてもらう仕組みづくりを行っていきます。リピートを増やすことによって宿泊、飲食、買い物などの需要を高める、【歩く場づくり】による「稼ぐ力」の拡大に繋げていきます。

身延山をはじめ地域の神社仏閣を活用した歴史フットパス

ツール・ド・富士川や身延山・七面山修行走、ゆずの里ウォーク、四尾連湖稜線トレイルランなど各町でのマラソンやサイクルイベント、ウォークイベントの連携、林道の活用

身延山ロープウェイや赤沢宿など魅力ある資源を活用した新たなウォークイベントの構築

JR身延線を活用したトレッキングコースの充実・整備

曙大豆収穫ツアーやたけのこ掘りツアー、ゆず収穫体験ツアーなど、峡南地域の食（生産地）を訪ねるツアー

中部横断自動車道の開通に合わせた渡り初めなどのイベント実施

駐車場、トイレなど観光に必要な施設の充実・整備（既存施設の有効活用）



12-3 【食べる】

地域に伝わる食は地域の歴史・文化そのものです。

食を知ることは地域の歴史・文化を知ることにつながり、「ここでしか味わえない」この地域ならではの魅力となります。そのため、ホテル・旅館や宿坊、道の駅などにおいて、地域の農産物をはじめとする食材を積極的に活用するとともに、食に関わる歴史的・文化的背景を伝える取り組みも行っています。さらに、地域の農産物を活用した新たな地場産品の開発【富士川ブランド（仮称）】の確立）や消費拡大の仕組みづくりを行うなど、生産・流通の改善、販路・消費の拡大を図ることとし、【食べる場づくり】による「稼ぐ力」の多様化に繋げていきます。

ホテル・旅館や宿坊での地元食材（ゆば、ゆず、曙大豆、たけのこ、大塚にんじん、南部茶など）を使ったおもてなしの推進

各町の農産物などを繋いだ新たな地場産品の開発

地元でなければ味わえない農産物（大塚にんじん、曙大豆、茂倉うりなど）の情報発信

生産農家や生産者との触れ合い（みみ作りや味噌作りなど郷土料理体験と住民による昔話 など）

路線バスなど既存インフラを活用した農産物の地域内流通の改善・販路拡大



12 - 4 【感じる】

地域を訪れ、地域に根付いた歴史や食を学び、味わうと同時に、地域の空気や音、流れる時間を肌で感じることは旅の癒しとなります。

峡南地域は日蓮宗総本山である身延山久遠寺や、武田信玄公の隠し湯と伝えられる県内有数の温泉、南アルプスの山々をはじめとする県内有数の自然景観や森林資源、特色ある農産物を有しています。

これらの資源とともに、地域に残る古民家なども有効活用する中で、「ここにしかない体験」を提供することにより、峡南地域への誘客を図ることとし、【感じる場づくり】による「稼ぐ力」の重層化を図っていきます。

身延山を活用した雅楽やJAZZコンサートなどの実施

身延山の持つ静寂感や荘厳な空気を感じられる西谷や千本杉などのスポットを活用した癒しの提供

身延山の信徒に温泉や食など地域の持つ魅力を提供できる周遊コースの構築

下部温泉や西山温泉によるスパメニューや湯治メニューの開発と森林資源の連携によるウェルネスツーリズムの推進

林業体験とたけのこ狩り、クラフト体験、農業体験、田舎料理体験、農家民泊など地域資源を組み合わせ、活用する体験メニューの充実



12 - 5 【見る】

峡南地域には県内有数の絶景スポットが数多くあります。

また、町によっては新たな景観スポットを作り上げていく取り組みもスタートしようとしています。

地域の豊かな自然景観は誘客のための大きな資源であることから、これらの情報を写真、絵画、俳句など共通の趣味を持つグループや女子旅などに積極的にPRするとともに、自然を活用したイベントなどの取り組みを進めることにより、誘客と宿泊滞在を促進することとし、【見る場づくり】による「稼ぐ力」の拡大を図ります。

峡南地域に共通する資源（身延山久遠寺のしだれ桜、大法師公園の桜、本郷の千年桜、富士見ふれあいの森公園の桜など）のスポットを巡る周遊ルートの設定・PR

妙法寺のあじさいや芦川沿いのセツブンソウ、赤沢宿の福寿草など、四季それぞれの景観の魅力をより詳しく発信するHPやパンフレットの整備

富士川町平林地区の棚田や高下地区のダイヤモンド富士、早川町の見神の滝、南部町富士川渓谷の吊り橋、市川三郷町の四尾連湖といった地域の優れた景観スポットと、それにまつわる歴史のエピソードなどの発掘・周知



13. 「稼ぐ場」づくり

先述の5つの行動を促進し、魅力ある地域づくりを進めるとともに、地域が「稼ぐ」ためには、観光客の消費を促すための「稼ぐ場」づくりが重要となります。

このため、地域内の資源の新たな活用や既存インフラの機能拡充などによって、具体的な「稼ぐ場」づくりを進め、観光消費額の増加を図っていく必要があります。

【宿 泊】

《温 泉》

峡南地域には、武田信玄公の隠し湯としても知られる下部温泉をはじめ各地に歴史を有し、宿泊可能な温泉があります。

また、身延山久遠寺周辺には特色ある宿坊群もあることから、健康志向の観光客から歴史を堪能したい観光客まで、様々なニーズに応じた宿泊の提供が可能な地域となっています。一人旅やB & B、短期から長期の滞在まで、あらゆる旅の形態に対応できる受入体制を作ることによって地域の魅力が高まり、入込客数の増加、滞在日数の増加、観光消費額の増加につながります。

[取り組み例]

- ・ 地域イベントに参加する観光客の宿泊料の割引など、地域の取り組みと連携した宿泊メニューの提供を行う。
- ・ 峡南地域のウォーキング・トレッキングコースとともに短期・中期・長期の湯治メニューや一人旅を提供する。
- ・ ゆずや南天といった峡南地域の特産品を使った温泉や、県内一の林業地域である特性を生かしたひのき風呂の提供など年間を通じて特色ある温泉の提供を行う。
- ・ 教育旅行の積極的な受け入れを図る。
- ・ Wi-Fi環境の整備や多言語メニュー・パンフレットの作成によるインバウンドの受入強化を図る。

13. 「稼ぐ場」づくり

〈宿坊〉

峡南地域には、身延山久遠寺周辺に宿泊可能なお寺である「宿坊」があります。

宿坊では、久遠寺の朝のお勤めなど歴史や伝統の体験ができますが、加えて、身延山の境内地を巡るツアーの実施や、積極的な地場の食材を使った食の提供、インバウンド受入環境の整備を進めることによって、地域ならではの体験を提供することができ、滞在と観光消費額の増加につながります。

[取り組み例]

- ・朝のお勤めと併せ、身延山久遠寺周辺にある隠れた絶景スポットなどの案内を行う。
- ・身延山大学と連携し、仏像修復の現場見学など、宿坊宿泊者ならではの特典を作る。
- ・地場の食材をふんだんに使った精進料理の提供など、ヘルシー志向の観光客に訴求するメニューの開発
- ・インバウンドの受入を行うためのWi-Fi環境整備や多言語パンフレット等の作成、学生ガイド（若手僧侶）や地域限定特例通訳案内士との連携を行う。
- ・歴史や地域文化を知る教育旅行の積極的な受け入れを図る。

〈農家民泊〉

現在、体験型の旅行が非常に人気を博しています。特に、田舎体験、農業体験を求める観光客に非営利で農業者などが生活の場を提供する（食事代や体験指導の対価は受領できる）農家民泊が非常に注目されています。峡南地域においても、宿泊を伴う農業体験や林業体験によって滞在を増やし、観光消費額の増加につながる可能性を十分に持っています。

[取り組み例]

- ・ゆず狩りやたけのこ狩りと、農家民泊での調理体験を行う。
- ・農家民泊を通じた地元住民による地元郷土料理の指導・体験を行う。
- ・インバウンドの受入を行うためのWi-Fi環境整備や多言語パンフレット等の作成、地域限定特例通訳案内士との連携強化を行う。
- ・農林業体験等による教育旅行の積極的な受け入れを図る。

13. 「稼ぐ場」づくり

〈グランピング・車中泊〉

現在、旅行の形態が多様化する中で、ホテル並みのサービスや設備を利用しながら自然の中で快適に過ごす〔グランピング〕が非常に人気を博しています。テントの設営や食事の準備などの手間がかからず、キャンプの知識がない初心者でも楽しめることから欧米を中心に人気が高まり、最近では国内でも人気が出てきています。

峡南地域は自然に恵まれた地域であり、特に清流などにも恵まれている早川町や南部町はグランピングに適した地域であり、旅行形態の一つとして導入することによって、新たなファン層の獲得と稼ぐ場づくりになります。

また、登山者などにとって、車中泊は気軽に泊まることができる手段の一つであり、24時間のトイレや電源設備、温泉施設などを備えた車中泊ができる場所（RVパーク）は非常に人気があります。

利用者は安価に宿泊ができることから地域への足が向きやすくなり、宿泊代を抑えられる代わりに地域での食や買い物に消費する傾向が高いと言われています。

峡南地域には富士川観光センターなど道の駅もあり、24時間利用可能な駐車場やトイレを提供する環境が整っています。

これらを活用し、車中泊も可能な利用を行うことによって、宿泊を促進し地域への滞在と消費の拡大を図ることができます。

[取り組み例]

- ・グランピングのノウハウを持った宿泊事業者の誘致
- ・道の駅のRVパークとしての活用。
- ・温泉施設との連携（割引入浴など）。

13. 「稼ぐ場」づくり

【道の駅・直売所】

峡南地域には、各所に道の駅や直売所が整備されています。

道の駅や直売所は地域の地場製品の取り扱いが多いことから観光客に非常に人気が高いスポットとなっています。特に、峡南地域では中部横断自動車道の整備に伴い、新たな道の駅の整備も進められています。

道の駅や直売所の集客効果をさらに高め、地域の観光拠点として有効に活用する方策を実施することによって集客がさらに高まり、地域内の周遊や消費行動の喚起につながります。

[取り組み例]

- ・ 地場産品を使った体験イベントの実施（曙大豆を使った味噌づくり、「みみ」などの郷土料理教室、道の駅絵画イベント、写真イベントなど。）
- ・ たけのこ、ゆずなど、販売している農産物の生産現場見学ツアー（農業体験など）の実施。
- ・ 地域の情報発信拠点として、ツアー情報や宿泊予約サービスなどの機能を付加

【飲食店】

食は観光の大きな楽しみの一つです。

地域の飲食店が地域の食材を積極的に活用し、そこでしか味わえない食や地域の伝統を味わえる食などを提供することによって、観光客の大きな旅の思い出になると同時に地域内での消費に繋がります。

[取り組み例]

- ・ 地場産品を使った新たなメニューの開発・提供
- ・ 飲食店での伝統料理教室や伝統料理の歴史を観光客に伝えるチラシ配布
- ・ どんぶり街道の拡大など、特色ある取り組みを地域全体に広げる飲食店相互の広域ネットワークを形成し、食による観光振興の方策を検討

13. 「稼ぐ場」づくり (地域内のイメージ)

小規模生産者の農産物の効率的な流通システム構築

地域農産物

地域農産物

身延山久遠寺

古民家
農家民泊

- ・地元食材を活用したメニュー
- ・伝統料理の体験・歴史紹介
- ・インバウンド対応強化

- ・地元農産物や特産品の販売促進
- ・伝統工芸などの体験メニュー
- ・インバウンド向けの情報発信
- ・車中泊(RVパーク)の導入

- ・朝のお勤めなど体験メニュー
- ・地元食材の活用
- ・インバウンド対応強化

- ・農業体験メニューの構築
- ・田舎体験の提供
- ・インバウンド対応強化

飲食店

道の駅

宿坊群

直売所

中部横断自動車道

駅

駅

身延線

東京に移送

甲府駅に移送

- ・新たな湯治メニューの開発
- ・新たなスパメニューの開発
- ・地元食材を使った新たなメニュー
- ・インバウンド対応強化

温泉宿

富士五湖に移送

1 4 . 情報発信の強化及び受入環境の整備

具体的な推進方策とともに、地域の「稼ぐ力」を高めるためには、観光客を地域に呼び込むための情報発信の強化と、観光客が地域に安心・快適に滞在するための受入環境の整備を進めていく必要があります。

特に、峡南地域は広範であり、情報の発信力にも格差があることから、情報を集約し一元的に発信できる拠点が必要となります。

また、地域の歴史文化をしっかりと案内できる人材や、不足しているインバウンドへの対応については今後の地域における観光振興を進める上で欠かせないものとなります。

地域の情報発信強化と受入環境整備は、行政だけでなく民間団体も含め地域全体で取り組んでいくことにより、地域全体の稼ぐ力の底上げに繋がります。

《情報発信の強化》

地域の情報発信拠点の整備検討

既存インフラの活用（富士川観光センターや道の駅、各地の観光案内所など）

中京圏や静岡県など対象となる地域や年代に合わせた情報発信媒体の活用

若年層に訴求できる県内外のフリーペーパーやSNSによる地域情報の発信、

中高年層に訴求できる新聞、ラジオなどによる地域情報の発信など

広域で統一的な情報発信を可能とするHP等の充実強化

既存HPの情報充実、SNSの活用

ホテル、旅館、宿坊、農家民泊などと連携した地域ならではの食の情報発信

キャンペーン等の強化

中京圏をはじめとするキャンペーンの実施

中京圏をはじめ西日本の旅行会社などへのPR活動の実施

14 . 情報発信の強化及び受入環境の整備

《受入環境整備》

宿泊施設におけるおもてなしの充実

もう一度来たくなる宿泊環境づくり（施設のしつらえ、地域の魅力案内）、地域農産物の積極的な活用

インバウンド対応の充実

宿泊施設、飲食店などへのWi-Fi環境の整備、飲食メニューの多言語化、多言語対応パンフレットの作成

歴史・文化を案内できる人材の育成

地域ボランティアガイドの育成、地域限定特例通訳案内士への研修実施

移動手段（交通インフラ）の充実

各町のコミュニティバスの活用・連携、レンタサイクルの導入

地域の観光を一元的に推進する体制及び拠点づくり

富士川観光センターや道の駅などの有効活用

観光客が安心・快適に周遊するための観光案内機能や手荷物預かりなどのサービスの充実

駅前観光案内所の設置

15 . 数値目標

具体的な推進方策や受入環境整備を着実に進め、峡南地域の観光入込数の増加や観光消費額の増加に繋がっていきます。

そのための明確な数値目標を掲げ、地域全体で取り組みを進めていくことが重要となります。

峡南地域の観光入込客数の増加

223万9千人

(H27)

270万人

(H31)

峡南地域での観光消費額の増加

312.2億円

(H27)

359億円

(H31)